

共通テスト「歴史総合，日本史探究」でも「日本史 B」でも，文献史料，地図，写真，グラフなどの多様な資料を素材としながら，多角的な視点から思考力・判断力を問う問題が多く出題されます。「日本史は単語暗記でなんとかなる」という考えはもはや通用しません。従来のような知識の理解度をはかる設問はもちろんのこと，時系列的にとらえる力，複数の歴史の事実を比較して相互のつながりや共通点と差異を導き出す力，資料から読み取った情報について歴史の関わりを類推する力，持っている知識で展開を考察する力などが求められます。第 3 問の 14 は，2023 年度の共通テスト日本史 B のすべての問題の中で，筆者が一番の良問だと思っている問題です。

リード文

ユウカ：中世の京都の特徴って何だろう。中世にも政治を担う権力者たちが多く住んでいたと思うんだけど，なんだか印象が薄い気がする。

キョウ：でも実際に，①平安時代後期から鎌倉時代に政治を担った権力者たちが新しい仏教の流行に乗って平安京周辺に多くのお寺を造らせているよ。

ユウカ：中世は仏教が栄えた時代と教わったけど，中国から最先端の教えがいち早く京都に伝わったのは，権力者が深く関わっていたからかな。政治の中心であったからこそ，京都に最先端の文化が伝わったってことだね。

キョウ：いくつか本を読んでもみると，京都に住む権力者たちに物資が集まったことによって，京都の経済がどんどん発達していったことが強調されているよ。

ユウカ：②室町幕府が京都の経済活動に深く関わっていたことはよく聞くなあ。

キョウ：そういえば，経済が発達したことによって③様々な芸術や文化が発達したと書いている本もあったよ。戦乱によって荒廃した京都が富裕な商工業者たちによって復興されたように，京都の経済活動は活発だったみたい。

ユウカ：この図 1 は戦国時代の京都の地図だよ。黒い丸が集まっているけど，何を示しているんだろう。

キョウ：黒い丸は，戦国時代の酒屋の位置を示していて，丸の大きさによって，酒屋が負担した税の額を表しているんだよ。大きな丸が多いから，この頃の酒屋にはたくさんの銭が集まっていたんだろうね。もしかすると，黒い丸の場所の地中にはものすごい量の銭の入った容器が眠っているかもよ。

ユウカ：史料だけではなくて，発掘調査の報告書や当時の様子を描いた絵画を見ることも，中世の京都について詳しく知るための参考になりそうだね。

(著作権処理の都合により図 1 省略)

《出典》 山田邦和 『京都都市史の研究』

問3 下線部⑥に関連して、次の**史料1**は1500年に室町幕府が京都で発布した撰銭令である。また、後の**史料2**は1485年に大内氏が山口で発布し、1500年においても有効だった撰銭令である。**史料1・2**によって分かることに関して述べた後の文a～dについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 14

史料1

商売人等による撰銭の事について

近年、自分勝手に撰銭を行っていることは、まったくもってけしからんことである。日本で偽造された私鑄銭については、厳密にこれを選別して排除しなさい。永楽銭・洪武銭・宣徳銭は取引に使用しなさい。
(『建武以来追加』大意)

史料2

利息付きの貸借や売買の際の銭の事について

永楽銭・宣徳銭については選別して排除してはならない。さかい銭^(注1)・洪武銭・うちひらめ^(注2)の三種類のみを選んで排除しなさい。
(『大内氏掟書』大意)

(注1) さかい銭：私鑄銭の一種。 (注2) うちひらめ：私鑄銭の一種。

- a 使用禁止の対象とされた銭の種類が一致していることから、大内氏は室町幕府の規制に従っていたことが分かる。
- b 使用禁止の対象とされた銭の種類が一致していないことから、大内氏は室町幕府の規制に従ってはいなかったことが分かる。
- c 永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえ、市中での需要が高かったことが分かる。
- d 永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえず、市中での需要が低かったことが分かる。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

【解答】

正解：④

【解説】

- a. 誤文。「使用禁止の対象とされた銭の種類が一致している」が誤り。**史料 1**では、「永楽銭・洪武銭・宣徳銭を取引に使用し、私鑄銭を排除しなさい」とあるのに対し、**史料 2**では「永楽銭・宣徳銭を排除してはならない（取引に使用しなさい）、さかい銭・洪武銭・うちひらめを排除しなさい」とあります。
- c. 誤文。「永楽通宝は京都と山口でともに好んで受け取ってもらえ」・「市中での需要が高かった」が誤り。**史料 1**（京都）で、「永楽銭・洪武銭・宣徳銭を取引に使用しなさい」とあり、また、**史料 2**（山口）で、「永楽銭・宣徳銭を排除してはならない」とある。「使用しなさい（排除してはならない）」という命令が下されるということは、「排除されていた」ということです。

日本史の学習をきちんと進めている生徒であれば、「永楽通宝・洪武通宝・宣徳通宝の中で最も日本で流通したのは永楽通宝である」ということは分かっていると思います。分かっているからこそ、dではなくて、cの文を「正文」としてしまうのではないのでしょうか？

表面的な暗記事項だけ覚えて終わりになってしまっている生徒は正解できませんね。
「単語暗記だけでは正解にたどり着けない」出題です。

こちらの問題も，筆者がなかなか面白いと思った問題です。

メモ

主人公：牧野りん(1860 年生まれ，1910 年没)

※りんの父は，東北地方のある藩の藩士(明治期は士族)

※りんをはじめ，登場人物は架空の人物

内 容：幕末から明治にかけて，時代が大きく変わるなか，りんが苦難を乗り越えながら成長する様子を描いた物語

会話

タ ク：面白い劇ができそうだけど，過去の時代を題材にすると，その時代が実際にどんな時代だったかを調べる必要があるね。

ユ キ：過去の時代を題材にした演劇や映画，ドラマでは，衣装や小道具，さらに物語の設定に関して，当時の状況や，歴史的事実(史実)に照らして適切かを検討する時代考証がよく行われるようだよ。

タ ク：私たちの劇では，幕末から明治にかけての時代を取り扱うけれど，この時代は文化の面でも大きな変化があったから，例えば①服装や身なりを考えてみても，時代考証をするのは大変そうだね。

ユ キ：それなら，主人公の牧野りんと同じ時代を生きた実在の人物について調べてみれば，手掛かりになるかもしれないよ。

タ ク：さっそく図書室で調べてみようよ。台本の作成に役立つといいね。

現役合格への 軌跡

問4 タクさんとユキさんは、図書室で調べた岸田俊子の生涯を参考に、牧野りんの生涯を次のように設定した。その上で、同じ演劇部員のカイさんとともに時代考証を行うことにした。次の**生涯の設定**を読み、3人の時代考証に関する発言の波線部について述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25

生涯の設定(時代考証前の文章で、史実に照らして修正すべき点がある。)

明治になり、りんの父は屯田兵として、りんたちを連れて札幌近郊に移住した。しかし病におかされ、りんが16歳の時に亡くなる。その後、りんは親族をたよって東京に移り、自由民権運動に携わった。20歳の時に、りんは自由民権運動を通じて知り合った憲政党の男性と結婚し、21歳から8年間、夫とともにドイツで暮らした。欧米で展開されていた女性の権利拡大の運動に感銘を受けたりんは、帰国後、女子教育の発展に生涯をささげた。

発言

- タ ク：設定上、りんの父が屯田兵となっているけど、史実として、りんの父が亡くなる前に屯田兵に応募できたのは平民だけだよね。この設定は修正したほうがいいと思う。
- ユ キ：史実として、憲政党の結成は、りんが設定上で結婚した年よりも後のことだよね。この設定は修正したほうがいいと思う。
- カ イ：設定上で、りんがドイツに滞在していた期間に、史実として、明治政府の要人がドイツで憲法調査を行っているよね。劇の背景に、こうした日本とドイツとの関係を追加できるね。

- ① 3人とも正しい。 ② 3人とも間違っている。
③ ユキさんのみ正しい。 ④ タクさんのみ間違っている。

2023 年度 共通テスト日本史 B 第 5 問 25 [解答・解説編]

【解答】

正解：④

【解説】

タク：誤文。「平民だけ」が誤り。屯田兵は平民だけでなく士族も応募できました。

ユキ：正文。**メモ**より、りんは 1860 年生まれです。次に**生涯の設定**より、りんは 20 歳の時に結婚しました（1880 年）。憲政党が結成されたのは 1898 年です。

カイ：正文。**生涯の設定**より、りんは 21 歳から 8 年間ドイツで暮らしたとあります（1881 年～1889 年）。「明治政府の要人がドイツで憲法調査を行っている」とは伊藤博文が渡欧して憲法調査を行った（1882 年～1883 年）ことを指しますので、正文と判断できます。

皆さん、ここまで読んで頂いてありがとうございます。皆さんが共通テストで全力を出しきれるよう、祈っております。

悔いの残らないように、最後の最後までやりきりましょう！